



はつゆめ いち ふじ に たかさん えんぎ  
**初夢の一富士二鷹三なすびはどうして縁起がいいの**

みつ しめ  
**三つのあだうちを示している**

しょうがつ はつゆめ なか みつ なら ゆめ み  
 正月の初夢の中で、めでたいことを三つ並べたものです。このうちのどれかの夢を見る  
 と、その年は大吉だといわれています。では、どうして、この三つのことがめでたいので  
 しょうか。

いろいろな説がありますが、一つはころごしをやりとげた、三大あだうちを示すもの  
 といわれています。まず、なすは「名をなす」といわれ、荒木又右衛門の伊賀上野（今の  
 みえけんせいぶ）というところでのあだうちをさしています。鷹は、鷹の羽を家紋とする赤穂  
 ろうし う い あわ ふじ ふじ かまくらじだい  
 浪士の討ち入り……あだうちを表しています。富士は富士のすそので、鎌倉時代にあった  
 そが きょうだい  
 曾我兄弟のあだうちをさしています。

とくがわいえやす こうぶつ なら  
**徳川家康の好物を並べたもの**

ひと せつ えど ばくふ ひら しょだいしょうぐん とくがわいえやす この  
 もう一つの説は、江戸幕府を開いた初代将軍の、徳川家康がいずれも好んだもの、とい  
 うことです。ふじ たかが で た こうぶつ  
 富士のすそのに鷹狩りに出かけること、食べものはなすを好物としたことと  
 いうわけです。そのほか、ふじ たか おお たか つち ま  
 富士は高く大きい、鷹は土がつかない（負けない）、なすは  
 せいこう いみ  
 ものごとをなす（成功させる）という意味からともいわれます。（監修・保岡 孝之）

